

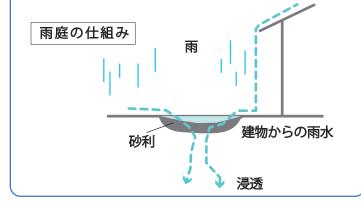
- □雨庭を自宅に導入したい
- □雨水の浸透時間を知りたい
- □遠く離れた雨庭の水位を知りたい
- □PC やスマホでデータを確認したい
- □雨量をチェックしたい

▲ なぜ水位の計測が 必要なのか?

河川の水位計測は、気候変動による豪雨や大型台風による洪水・水害のリスク管理に不可欠です。 雨庭の水位計測は、流域治水の取り組みの中でも、 雨庭による貯留・浸透の状況を確認し効果を定量的 に計る為に必要です。

▲ 雨庭とは?

雨庭とは、屋根やアスファルトなどに降った雨水を、 排水路や河川に直接放流させず、一時的に貯留したり、 浸透させるための庭や空間のことです。豪雨の際に、 雨庭では屋根などに降った雨水を取り入れ、窪地など に一時的に溜めたり、土壌に浸透させることで流出を 抑え、またスピードを遅らせることで洪水を軽減する ことができます。



雨庭水位センサーは九大アジア防災研究センターが研究開発した、自立型水位センサーです。安価な観測の仕組みをサポート付きで導入いただけます。スマートフォンやパソコンから遠隔で水位データを常にチェックできます。取得したデータを地域や行政、農業などで活かすことができます。

株式会社リバー・ヴィレッジ 西田・廣林



◀ 問合わせフォーム

https://www.ri-vi.com/contact お問い合わせ内容欄に 「雨庭水位センサー」とご記入ください

雨庭水位センサー内容



通信端末



バッテリー内蔵型 太陽光パネル



水位センサー (超音波距離センサー)



本体はコンパクトで軽く、自分たちでカンタンに設置できます。

使用例

※開発中のものです





雨量を計りたいなら!

「水位センサー」 の部分を雨量計 に変更できます。



雨の量を観測する観測器です。

転倒ます型雨量計↑



雨庭水位センサーの仕組み

- ■センサーから水面また地面までの距離を計ります。 (単位は mm)
- ■計測精度は、±10mm 程度です。
- ■データの取得・送信間隔は、基本 10 分ごとですが、 変更したい場合は別途ご相談ください。

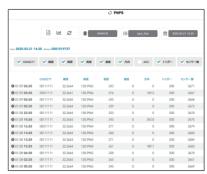
※センサーから 250mm 以下は計測不可です。

データ通信費+可視化アプリ利用料:8,700~10,200円/1端末/年

・データ通信初期費用:年間1500円(1分間隔は3000円)

・データ通信年間通信費:年間1500円(1分間隔は3000円)・可視化アプリ「PNPS」利用料:月600円(1台当たり)

※雨庭水位センサー 本体以外にかかる 費用です。





グラフ化、CSVデータダウンロード、アラートメール配信機能あり。

(((ご注意ください)))

電波受信が必須のため、 ELTRESの電波とGPSの両方が 届かない場所では使用できません

端末(ELTRES)の 通信範囲 確認サイト



https://eltres-iot.jp/area/area.html

※現場の状況によって通信できない 場合があるので、ご確認ください。